

つながり

市同協加布里支部

令和3年12月15日発行
平成10年起
第91号
コミュニティセンター歌舞里
TEL/FAX322-3026

加布里小学校 5・6年生

人権標語作品

人権標語入賞者作品

☆支部長賞

6年2組 三苫 昊和さん

ありがとう 笑顔をつくる おまじない

☆副支部長賞

6年1組 佐子 幸菜さん

一人じゃない いっしょに作ろう 幸せの輪

☆人権擁護委員賞

6年2組 友納 望愛さん

ありがとう みんな笑顔になるまほう

☆運営協議会長賞

5年1組 春日 優志さん

ありがとう みんな仲よく たすけあい

☆コミュニティセンター長賞

5年2組 吉田 翔雲さん

そのことは ほんとにいいの かんがえて

5・6年生120名の人権標語作品は中面に記載しています。ぜひご覧ください。



入賞されたみなさん
おめでとうございます！

毎年、加布里小学校の5・6年生は、人権に関する標語を人権学習の一環で取り組んでいます。今年もさまざまな標語が集まりました。その中から、5作品を選び、市同協加布里支部で表彰をしました。

昨年につき、地域の皆様の前で表彰式を行うことができました。でしたが、加布里小学校のご厚意で、12月1日(水)の朝タイムの時間を使い、校内放送を活用し、受賞者と受賞作品の放送と、各教室で表彰式を行うことができました。

毎年、加布里小学校5・6年生の皆さんに人権標語をお願いしていますが、今年も素晴らしい作品が多く、選考に悩みました。皆さんの作品には、平和な社会・笑顔になれるあいさつ・思いやりの心と優しい言葉の大切さ、また現代の社会問題であるSNSやインターネットによるいじめや誹謗中傷を戒めるものなど、子どもたちの思いが込められた作品が多く見られました。

作品を見て感じたことは、この人権標語は子どもたちの心のメッセージであり、私たち大人へ向けてのメッセージなのではないでしょうか。

私たち市同協加布里支部は、この子どもたちのメッセージを大切にし、思いやりのある地域を目指して活動していきたいと思えます。地域の皆様、ご支援とご協力を引き続きよろしく願います。

市同協加布里支部長

谷口 勝則

人権標語作品 5年1組

- ・そのことは相手のきもち考えた?
- ・きぼうの子 みらいにはばたけよかつたね
- ・ありがとう いったわたしもいきもち
- ・ぼくたちは心が花で いっぱいだ
- ・あたたかい あいさつしたら うれしいね
- ・うれしいな やさしさの種 ありがとう
- ・こえかけて 友達のわをひろげよう。
- ・ありがとう そのひとことが うれしいよ
- ・あいさつは みんなの心を てらします。
- ・ゆずりあい だいじなルール 守ろうよ
- ・たくさんの やさしいことば うれしいね
- ・いやだな ちくちくことば ざんねんだ
- ・いい言葉 ふわふわことば ありがとう
- ・友達の輪 みんなでつなごう ふわふわ言葉
- ・ありがとう みんなの心 花がさく
- ・ひろげよう ふわふわ言葉で いい気持ち
- ・いい言葉 ふわふわ言葉 つたえよう!!
- ・友達が すごく笑って いい気持ち
- ・いまのじき たいへんだけれど がんばろう
- ・あたたかい 言葉を言って いい気持ち
- ・いのちはね ーつしかない たいせつに
- ・あいさつは 元気になれる 言葉だよ
- ・みんなでね たのしい世界 つくろうよ。
- ・人権をもとうもたせよう いつまでも。

- ・ありがとう ふわふわ言葉 うれしいね
- ・ありがとう みんな仲よく たすけあい
- ・けんかもね あやまりあって なかなおり
- ・あいさつは 元気になれる 言葉だね
- ・優しさの たねをまいたら おんがえし
- ・ありがとう みんなのバケツ 花さいた
- ・比べない みんなちがって みんないい
- ・ありがとう うれしかったよ そのことは
- ・友達が こまっていたら たすけあい。
- ・その行動 相手の気持ち 考えてる?
- ・人助け 困ってる人 助けよう

人権標語作品 5年2組



- ・スマホはね きをつけながら 楽しもう
- ・気をつけよう SNSは あぶないよ
- ・グループで かんちがいして むしされる
- ・打つ言葉 よく考えて 気をつけよう
- ・気をつけよう ネットのいじめは よくないよ
- ・いじめだめ ゲームかきんも あぶないよ
- ・メールでね わからなかったら きいてみよう
- ・グループで みんなでたのしく つうわしよう
- ・SNS 知らない人とは、かかわらない

- ・きょうから SNSを きをつけよう
- ・いじめだめ 言葉使いを 気をつける
- ・いやなこと スタンプレんだ よくないよ。
- ・きをつけよう インターネットの とりあつかい
- ・気をつけよう ネットのいじめ あぶないよ
- ・いじめダメ 死につながる あぶないよ
- ・グループで うちまちがえて ブロックされる
- ・あぶないよ インターネット 気をつけて
- ・ゲーム注意 やりすぎだめ、 きをつけよう
- ・悪口や ひぼう中しよう やめようよ
- ・プラス面 楽しいけれど 考えて
- ・考えよう インターネット 使い方
- ・SNS 人を絶対 きずつけない
- ・いじめだめ SNSに きをつけよう
- ・きをつける ネットのイジメと スマホ依存
- ・やめようよ ひぼうちゅうしょう 悪口も
- ・だめだよ ネットいじめは ひどいこと
- ・グループで かんちがいして きらわれる
- ・きをつける 一つのちがいが いじめよぶ
- ・きをつけよう ネットでいじめ できること
- ・スマホ所持 きけんがいっぱい きをつけよう
- ・きをつけよう うちまちがいはいじめにあう
- ・スマホはね おもしろいけど きをつけて
- ・そのことば ほんとにいいの かんがえて
- ・やめようね ネットのいじめ じさつのもと
- ・かんがえよう。それがただしいかどうかなのか

人権標語作品 6年1組

- ・ありがとう その一言を大切に
- ・つらいとき、だれかにたすけをもとめよう
- ・合言葉 いいことされたら ありがとう
- ・みとめよう 人それぞれの 生き方を
- ・みんなが もっている命を大切に
- たのしい平和な世の中続けよう
- ・みんなもね 一つの命 もってるよ
- ・きらきらと みんながかがやく世の中に
- ・やめようよ いじめは人の 心閉ざす
- ・君たちも 命あるから 大切に
- ・ありがとう 気にしてくれて 幸せだ
- ・あいさつは 心をつなぐ あいことば
- ・一人じゃない いっしょに作ろう 幸せの輪
- ・あいさつは 人と人がつながる 大事なこと
- ・一言の、ふわふわ言葉で あたたまる
- ・はん罪だ いじめは子供 だけじゃない
- ・人権は 平和をつくる 憲法だ
- ・いじめは、こころにのこる だめぜつたい。
- ・その言葉 気づいてないけど きずつくよ
- ・いじめはね ぜつたいしては いけないよ
- ・なにげない その一言を 大切に
- ・一人一人 心がある たいせつに
- ・ごみ拾い すみやすい町への 第一歩
- ・ありがとう いっぱいあふれる ふわふわことは

- ・ありがとう そんな言葉が ほしかった
- ・ファイトの 一言でみんな かがやける
- ・あいさつで みんなの心 あったかい

人権標語作品 6年2組

- ・あたたかい 言葉を使って 話そうよ
- ・わるぐちは うそで言っても 傷がつく
- ・大切な 優しい言葉 ふやそうよ
- ・いろいろな とくぎがあつて みんないい
- ・考えて 使おうとした その言葉
- ・あいさつは みんなはげます いい言葉
- ・差別せず 一人ひとりが 平等に
- ・日本人 みんなちがくて みんないい
- ・あいさつは 笑顔になれる あいことば
- ・あつたかい 言葉が救う 君たちを
- ・あたたかい 声の数だけ 花がさく
- ・たいせつな たくさんのいのち すくおうよ
- ・ありがとう あつたか言葉 ふやそうよ
- ・ありがとう みんなを救う あいことば
- ・ありがとう 笑顔をつくる おまじない
- ・あいさつは 人を笑顔に する言葉
- ・いじめなど 絶対がない よのなかに
- ・あいさつは みんなの笑顔 つくりだす
- ・あいさつは みんなの笑顔 育ててる

- ・守ろうよ 楽しい日々を 大切に
- ・優しさで みんなの命を 守りたい
- ・平等だ 上下なんて ものはない
- ・ありがとう みんな笑顔になるまほう
- ・あなた達 あの子いじめて 楽しいの

表彰式の様子
各教室で松本校長
と支部長代理と
して表彰して
いただきました。



加布里小学校の校内放送で表彰作品の
発表を行う谷口支部長。



加布里小学校の皆様、
ご協力、本当にありがとうございました。
※標語作品は、原文のまま記載しています。

街頭啓発活動

12月4日(土) サニー加布里店入り口で実施しました。2年ぶりの実施となった今回、啓発物品は感染症予防グッズとして除菌シートを配布。またお渡しする方法も、直接グッズの手渡しはせず、ワゴンに並べて、買い物に来られたお客様自身に取っていただきました。また、加布里小学校4・5・6年生にも学校を通して同じグッズを配付しました。



啓発活動の様子

人権映画研修

12月4日(土) 午後からは、人権映画研修会を実施しました。30名の参加でした。上映した作品は『心の傷を癒すということ』。神戸を舞台に、阪神淡路大震災の被災者の心のケアに翻弄する精神科医の話でした。

参加者の感想

- ・この映画の主人公 安先生のようにやさしさと思いやりをもって日々を過ごしていけたらと思います。
- ・人は一人では生きていけないと思いました。
- ・寄り添い、耳をかたむけ、一人にしないこと。みんなできそうです。
- ・実際に起こりうることで、説得力がある映画でした。



心の傷を癒すということ

劇場版

上映作品

研修会を開催 神在五行政区

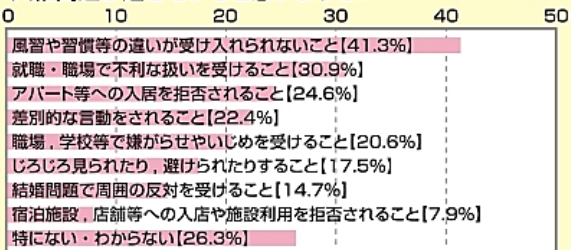
テーマ「外国人の人権」

11月6日(土) 神在五区(浜の園集会所)で人権研修会が開催されました。参加者は、地域の役員など13名。「日本で暮らす外国人が抱える問題」を題材にしたドラマを視聴。互いを認め合うことや、コミュニケーションの大切さを改めて認識できる良い機会となったようです。

世論調査では..

平成29年に内閣府が行った調査(日本に居住している外国人に対して行われた)

日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか? 複数回答(%)



「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」などが問題になっていることがうかがえます。【法務省ウェブサイトより】

経験と行動

人権を考えるがぶりコラム

高校生の時、私は日本赤十字ジュニアクラブのサークルに入りました。赤い羽根共同募金の頃には街頭に立ちました。正月明けには残った餅を集めて、児童施設に持っていき、子どもたちと遊びました。60年も前の話です。社会人になり、地下鉄の駅の入り口で「すみません、車いすを下ろすのを手伝ってください」と声をかけられました。私は一人では難しかったので、とっさにそこに居合わせ二人に声をかけました。

100字で「伝える」
ありがとうメッセージ
まだまだ大募集!

あなたの大切な人・もの・ペットなど、普段想っていてもなかなか相手に伝えられない「ありがとう」をこの場を借りて伝えてみませんか。

2022年3月15日発行の市同協加布里支部広報「つながり」内においてメッセージが採用された方には、豪華(?)賞品をプレゼント。みなさまの応募をお待ちしております。

詳しくは、応募用紙(11月15日配付のオレンジの紙)をご覧ください。

☆ おたより募集 ☆

市同協加布里支部では、校区の皆様からコラムへのおたよりを募集しています。詳しくは加布里コミュニケーションセンターまでお尋ねください。



(神在在住 匿名希望)

二人は何も言わずに協力してくれて、難なく車いすをホームまで降ろしたことを思い出しました。ボランティアの経験が行動につながり、その人の役に立ったのだと思います。